本資料のうち，枠囲みの内容は，
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません

| 東海第二発電所　工事計画審査資料 | |
|---|---|
| 資料番号 | 工認-558　改 5 |
| 提出年月日 | 平成 30 年 9 月 28 日 |

# 日本原子力発電株式会社

# 東海第二発電所　工事計画審査資料

# 放射性廃棄物の廃棄施設

# 気体，液体又は固体廃棄物処理設備

# 液体廃棄物処理系

# （機器ドレン処理系）

（添付書類）

Ⅴ-1　説明書

Ⅴ-1-1　各発電用原子炉施設に共通の説明書

Ⅴ-1-1-4　設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

Ⅴ-1-1-4-5　設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（放射性廃棄物の廃棄施設）

Ⅴ-1-1-4-5-1　設定根拠に関する説明書（機器ドレン処理系　格納容器機器ドレンサンプ）

Ⅴ-1-1-4-5-2　設定根拠に関する説明書（機器ドレン処理系　主配管）

Ⅴ-6　図面

6　放射性廃棄物の廃棄施設

6.1　気体，液体又は固体廃棄物処理設備

・放射性廃棄物の廃棄施設　気体，液体又は固体廃棄物処理設備に係る機器の配置を明示した図面

【第 6-1-1 図】

6.1.1　液体廃棄物処理系

・放射性廃棄物の廃棄施設　気体，液体又は固体廃棄物処理設備（液体廃棄物処理系　床ドレン処理系／機器ドレン処理系）に係る主配管の配置を明示した図面

【第 6-1-1-1 図】

・放射性廃棄物の廃棄施設　気体，液体又は固体廃棄物処理設備（液体廃棄物処理系　機器ドレン処理系）（耐震Ｂクラス申請範囲）に係る主配管の配置を明示した図面

【第 6-1-1-3 図】

・放射性廃棄物の廃棄施設　気体，液体又は固体廃棄物処理設備（液体廃棄物処理系　床ドレン処理系／機器ドレン処理系）の系統図（設計基準対象施設）

【第 6-1-1-6 図】

・放射性廃棄物の廃棄施設のうち気体，液体又は固体廃棄物処理設備（液体廃棄物処理系　機器ドレン処理系）（耐震Ｂクラス申請範囲）の系統図（1／2）（変更前）（設計基準対象施設）

【第 6-1-1-7 図】

・放射性廃棄物の廃棄施設　気体，液体又は固体廃棄物処理設備（液体廃棄物処理系　機器ドレン処理系）（耐震Ｂクラス申請範囲）の系統図（1／2）（変更後）（設計基準対象施設）

【第 6-1-1-8 図】

・放射性廃棄物の廃棄施設　気体，液体又は固体廃棄物処理設備（液体廃棄物処理系　機器ドレン処理系）の構造図　格納容器機器ドレンサンプ

【第 6-1-1-15 図】

# Ｖ-1-1-4-5-1　設定根拠に関する説明書

（機器ドレン処理系　格納容器機器ドレンサンプ）

NT2 補② V-1-1-4-5-1 R1

# V-1-1-4-5-2　設定根拠に関する説明書

（機器ドレン処理系　主配管）

| | |
|---|---|
| 工事計画認可申請 | 第 6-1-1 図 |
| 東海第二発電所 | |
| 名称 | 放射性廃棄物の廃棄施設<br>気体，液体又は固体廃棄物処理設備<br>に係る機器の配置を明示した図面 |
| 日本原子力発電株式会社 | |

8821

| 工事計画認可申請 | 第 6-1-1-1 図 |
| --- | --- |
| 東海第二発電所 | |
| 名称 | 放射性廃棄物の廃棄施設<br>気体，液体又は固体廃棄物処理設備<br>（液体廃棄物処理系<br>床ドレン処理系／機器ドレン処理系）に係る<br>主配管の配置を明示した図面 |
| 日本原子力発電株式会社 | |

8827

第 6-1-1-1 図　放射性廃棄物の廃棄施設　気体,液体又は固体廃棄物処理設備(液体廃棄物処理系　床ドレン処理系／機器ドレン処理系）に係る主配管の配置を明示した図面　別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

管 NO.1*

| 主要寸法 (mm) | | 許容範囲 | 根　　拠 |
|---|---|---|---|
| 外径 | 89.1 | ±1% | ＪＩＳ　Ｇ　３４５６による材料公差 |
| 厚さ | 7.6 | [redacted]<br>－12.5% | 【プラス側公差】<br>製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準<br>【マイナス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　３４５６による材料公差 |

管 NO.1*- 管継手

| 主要寸法 (mm) | | 許容範囲 | 根　　拠 |
|---|---|---|---|
| 外径 | 89.1 | ±1.6mm | ＪＩＳ　Ｂ　２３１２による材料公差 |
| 厚さ | 7.6 | ＋規定しない<br>－12.5% | 同上 |

管 NO.2*

| 主要寸法 (mm) | | 許容範囲 | 根　　拠 |
|---|---|---|---|
| 外径 | 89.1 | ±1% | ＪＩＳ　Ｇ　３４５６による材料公差 |
| 厚さ | 5.5 | [redacted]<br>－12.5% | 【プラス側公差】<br>製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準<br>【マイナス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　３４５６による材料公差 |

NT2 補③ 公差表 R1

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管 NO.3*

| 主要寸法 (mm) | | 許容範囲 | 根　　拠 |
|---|---|---|---|
| 外径 | 89.1 | ±1% | ＪＩＳ　Ｇ　３４５６による材料公差 |
| 厚さ | 7.6 | [redacted]<br>－12.5 % | 【プラス側公差】<br>製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準<br>【マイナス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　３４５６による材料公差 |

管 NO.3*- 管継手

| 主要寸法 (mm) | | 許容範囲 | 根　　拠 |
|---|---|---|---|
| 外径 | 89.1 | ±1.6 mm | ＪＩＳ　Ｂ　２３１２による材料公差 |
| 厚さ | 7.6 | ＋規定しない<br>－12.5 % | 同上 |

管 NO.4*

| 主要寸法 (mm) | | 許容範囲 | 根　　拠 |
|---|---|---|---|
| 外径 | 89.1 | ±1% | ＪＩＳ　Ｇ　３４５６による材料公差 |
| 厚さ | 7.6 | [redacted]<br>－12.5 % | 【プラス側公差】<br>製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準<br>【マイナス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　３４５６による材料公差 |

管 NO.4*- 管継手

| 主要寸法 (mm) | | 許容範囲 | 根　　拠 |
|---|---|---|---|
| 外径 | 89.1 | ±1.6 mm | ＪＩＳ　Ｂ　２３１２による材料公差 |
| 厚さ | 7.6 | ＋規定しない<br>－12.5 % | 同上 |

注　：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

注記　＊：管の強度計算書の管 NO.を示す。

| 工事計画認可申請 | 第 6-1-1-3 図 |
|---|---|
| 東海第二発電所 | |
| 名称 | 放射性廃棄物の廃棄施設<br>気体,液体又は固体廃棄物処理設備<br>（液体廃棄物処理系 機器ドレン処理系）<br>（耐震Ｂクラス申請範囲）に係る<br>主配管の配置を明示した図面 |
| 日本原子力発電株式会社 | |

8926

第 6-1-1-7,8 図，第 6-1-1-11 図～第 6-1-1-14 図　放射性廃棄物の廃棄施設　気体，液体又は固体廃棄物処理設備（液体廃棄物処理系　機器ドレン処理系，床ドレン処理系）（耐震Ｂクラス申請範囲）に係る主配管の配置を明示した図面　別紙

工事計画書記載の公称値の許容範囲

1. 機器ドレン処理系統

管 No. 1*

管 No. 2*

2. 床ドレン処理系統

管 No. 1*

NT2 補②公差表 R2

工事計画書記載の公称値の許容範囲（続き）

管 No.2*

| | |
|---|---|
| | |

管 No.3*

| | |
|---|---|
| | |

注　：主要寸法は，工事計画書記載の公称値を示す。

注記　＊：管の強度計算書の管 No.を示す。

NT2 補②公差表 R2E

| | |
|---|---|
| 工事計画認可申請 | 第 6-1-1-6 図 |
| 東海第二発電所 | |
| 名称 | 放射性廃棄物の廃棄施設<br>気体，液体又は固体廃棄物処理設備<br>（液体廃棄物処理系<br>床ドレン処理系／機器ドレン処理系）の系統図<br>（設計基準対象施設） |
| 日本原子力発電株式会社 | |

8914

| 工事計画認可申請 | 第 6-1-1-7 図 |
|---|---|
| 東海第二発電所 | |
| 名称 | 放射性廃棄物の廃棄施設<br>気体,液体又は固体廃棄物処理設備<br>（液体廃棄物処理系 機器ドレン処理系）<br>（耐震Ｂクラス申請範囲）の系統図<br>（変更前）<br>（設計基準対象施設） |
| 日本原子力発電株式会社 | |

8926

| 工事計画認可申請 | 第 6-1-1-8 図 |
| --- | --- |
| 東海第二発電所 | |
| 名称 | 放射性廃棄物の廃棄施設<br>気体,液体又は固体廃棄物処理設備<br>（液体廃棄物処理系 機器ドレン処理系）<br>（耐震Ｂクラス申請範囲）の系統図<br>（変更後）<br>（設計基準対象施設） |
| 日本原子力発電株式会社 | |

8926

| 工事計画認可申請 | 第 6-1-1-15 図 |
| --- | --- |
| 東 海 第 二 発 電 所 | |
| 名称 | 放射性廃棄物の廃棄施設<br>気体，液体又は固体廃棄物処理設備<br>（液体廃棄物処理系　機器ドレン処理系）<br>の構造図<br>格納容器機器ドレンサンプ |
| 日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社 | |

8607

第 6-1-1-15 図　放射性廃棄物の廃棄施設　気体，液体又は固体廃棄物処理設備（液体廃棄物処理系機器ドレン処理系）の構造図　格納容器機器ドレンサンプ　別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

| 主要寸法<br>(mm) | | 許容範囲 | 根　　拠 |
|---|---|---|---|
| 弧の長さ（内側） | 2142 | [redacted] | 製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準 |
| 弧の長さ（外側） | 2344 | [redacted] | 同上 |
| 幅 | 237 | [redacted] | 同上 |
| 高さ | 1410 | [redacted] | 同上 |
| 胴板厚さ | 12.0 | ＋1.6 mm | 【プラス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　４３０４による材料公差 |
| | | [redacted] | 【マイナス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　４３０４による材料公差及び製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準 |
| 底板厚さ | 12.0 | ＋1.6 mm | 【プラス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　４３０４による材料公差 |
| | | [redacted] | 【マイナス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　４３０４による材料公差及び製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準 |
| 平板厚さ | 12.0 | ＋1.6 mm | 【プラス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　４３０４による材料公差 |
| | | [redacted] | 【マイナス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　４３０４による材料公差及び製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準 |
| 管台外径<br>（廃液出口） | 89.1 | [redacted] | 製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準 |
| 管台厚さ<br>（廃液出口） | 5.5 | ＋0.6 mm | 【プラス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　３４５９による材料公差 |
| | | [redacted] | 【マイナス側公差】<br>ＪＩＳ　Ｇ　３４５９による材料公差及び製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準 |

注　：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

NT2 補② 公差表 R1E